

令和4年度第14回市政懇談会 会議録（要旨）

【日 時】 令和4年10月12日（水） 18時30分 ～ 19時30分
【出席者】 篠崎市長 宇部商工会議所青年部 会長 : 中野 光国 一般社団法人 宇部青年会議所 理事長 : 二木 隆行 若き経営者の会 会長 : 猪熊 修太郎 くすのき商工会青年部 部長 : 佐貫 健太郎 総合政策部長、次長 こども未来部長 事務局（広報広聴課）
【概 要】 1 開会 2 出席者紹介 3 参加者と市長との意見交換 4 閉会
【意見交換・懇談】
【市長】 ・宇部市に子どもたちが戻って来てくれるために、宇部市で何を経験しておけばよいか、宇部市のあるべき姿、宇部市に欠けているもの等、皆さんの考えをお伺いしたい。
【商工会議所青年部 会長】 ・大学生が戻ってきたくなるような会社があれば良い。 ・最近働く場所を選ばない仕事環境の会社もあり、宇部市に本社機能を誘致することも良い。 ・子どもにとって良い環境であること、子どもの医療費無料化等が、移住地として選ばれるポイントである。
【市長】 ・今は二地域居住の生活もできるようになってきており、事務系の仕事がある企業の誘致をしたいとも考えている。 ・人口減少・少子化社会において、子どもを産んでもらうためには、子育て環境を手厚くする必要があると考えている。
【青年会議所 理事長】 ・市内の高校生が自分たちで課題を考え、若者が楽しめる場所の設置や勉強ができる場所を増やすこと等を記事にした新聞を作り、市へ提言書として提出した。
【市長】 ・子どもたちがまちづくりに関わることは非常に大切である。
【若き経営者の会 会長】 ・仕事の選択肢が多くあることが重要である。

- ・どのような仕事があるか、子どもたちに知ってもらう機会が必要である。
- ・ランドマーク的な建物があると良い。
- ・電車でI C O C A等の電子マネーが利用できると良い。
- ・宇部市独自の子育て施策があるようであるが、あまり周知できていないのではないか。
- ・子どもが生みやすいまち、優しいまちという印象が大事。
- ・今年度、会員家族で彫刻清掃をしたが、宇部ふるさとコンパニオンの方に彫刻の解説もしてもらい、会員からも好評で、とても有意義なものになった。

【市長】

- ・最近、県外の企業の方とお話をした際に、企業に対する税金等の優遇より、社員に対する子育て支援の手厚さ等に重きを置かれている企業があると感じる。
- ・各団体において、彫刻を活用した事業をしていただけるとありがたい。

【くすのき商工会青年部 部長】

- ・宇部から、東京・福岡・広島など、どこへでも行きやすい環境にあるということが知られていないのではないか。

【商工会議所青年部 会長】

- ・来年度、ニュースポーツである「HADO」の大会開催を目指しており、宇部まつりの時に体験ブースを設置する。
- ・「わたしたちの宇部」（小学生副読本）を小学校の時だけでなく、もう少し大きくなって、高校生になってから学ぶことで、感じ方が違うかもしれない。

【市長】

- ・「HADO」は是非体験させていただき、市長YouTubeチャンネルでも発信したい。
- ・大人になって学び直せる仕組みは大事と考えている。
- ・次のこの懇談会は12月に開催し、各団体の来年度以降に考えておられる事業についてご紹介いただき、市も一緒になって成功させたい。アイデア段階のものでも結構なので教えていただきたい。